



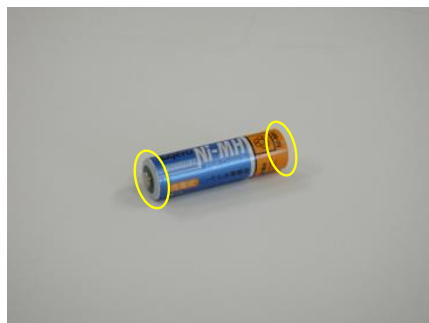
小型充電式電池のリサイクル回収依頼時の 安全処置方法(事例)

小型充電式電池 / リサイクル

一般社団法人 **JBRC**

発行 2018年7月

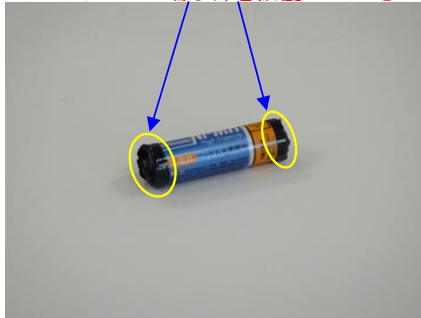
短絡起因箇所の絶縁処置



(両極端子部露出)



ビニルテープで端子部を被覆してください



(両極端子部の被覆)



(電極端子部露出)



(電極端子部の被覆)



(電極端子部露出)



(電極端子部の被覆)

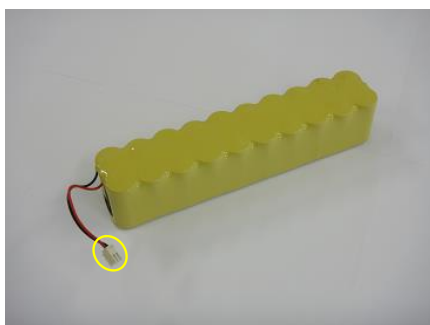


(電極端子部露出)

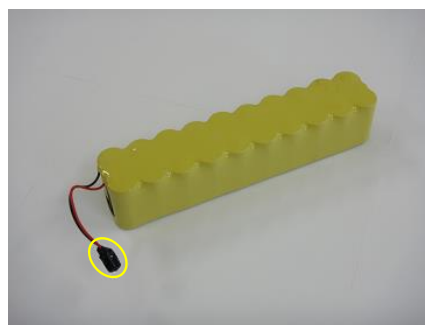


(電極端子部の被覆)

※ ビニールテープは、電気絶縁用ビニールテープを使用ください。
規格;JIS C 2336 A 種 適合品



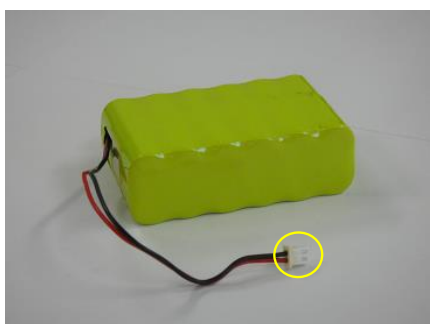
(コネクター部露出)



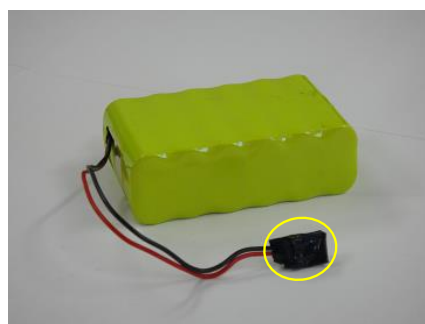
↓ (コネクター部の被覆)



(コネクター部、リード線の固定)



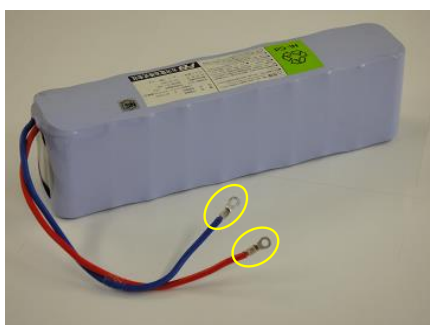
(コネクター部露出)



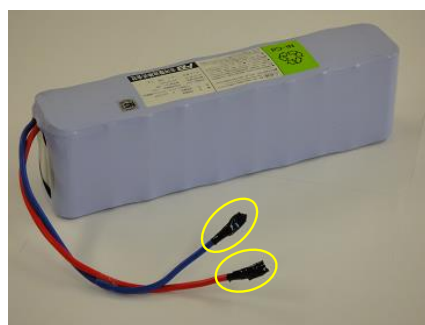
↓ (コネクター部の被覆)



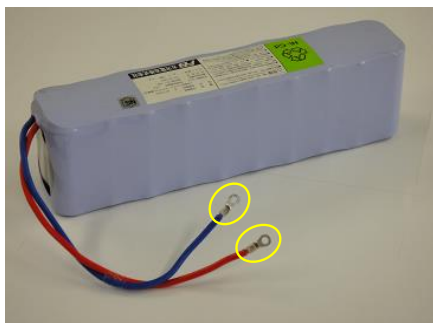
(コネクター部、リード線の固定)



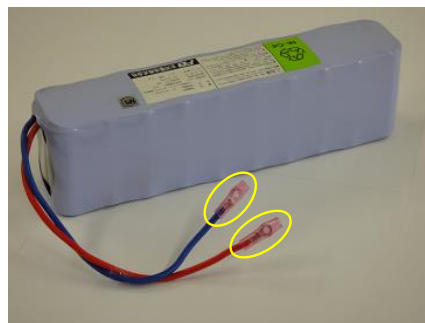
(電極端子部露出)



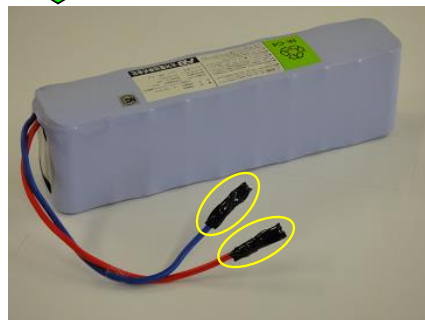
(電極端子部の被覆)



(電極端子部露出)



(絶縁チューブ嵌め込み)



(絶縁チューブの固定)



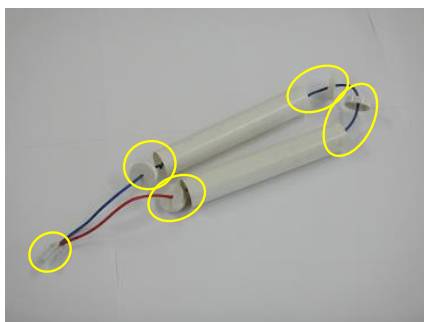
(コネクター部露出)



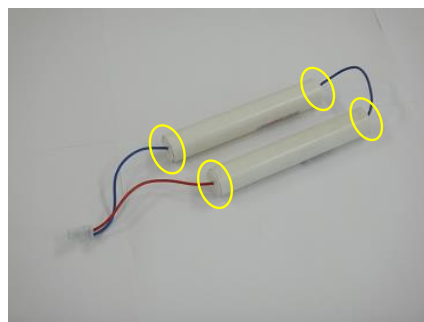
(コネクター部の被覆)



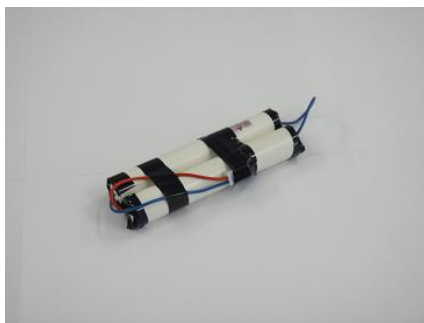
(複数電池パック、リード線の固定)



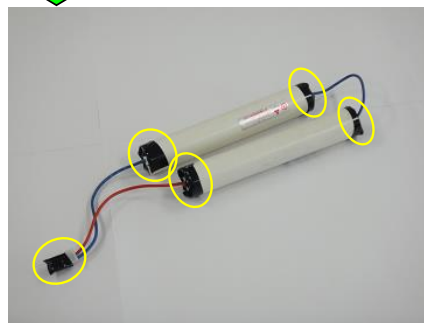
(コネクター部露出／電池パック蓋外れ)



(蓋の嵌め込み)



(複数電池パック、リード線の固定)



(コネクター部の被覆／蓋の固定)



(電極端子部露出)



(電極端子部の被覆)



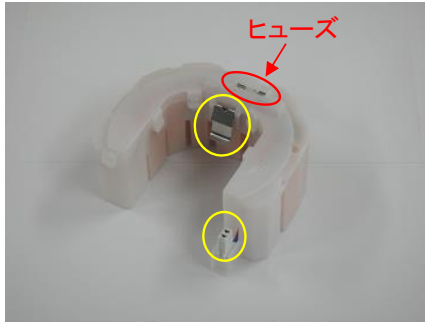
(電極端子部露出)



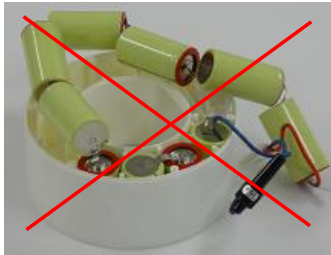
(絶縁キャップ嵌め込み)



(キャップの固定)



(コネクタ部/金属部
/ヒューズ部の露出)
電池を装着状態から取り外す為に装着品の
解体を必要とする場合には、装着状態
で回収します。



装着品から取り出した電池は回収できません。

(コネクタ部/金属部
/ヒューズ部の被覆)

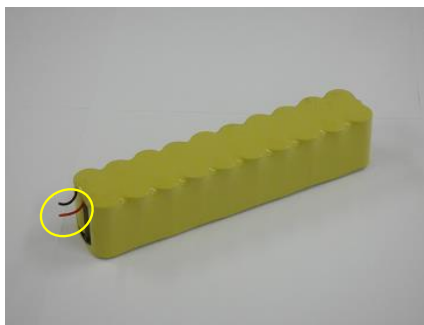


(固定されていない電池パック
/リード線切断部露出)

(リード線切断部の被覆)

(電池パックの固定)

全体をテープで覆った場合、電池種を記
入して下さい



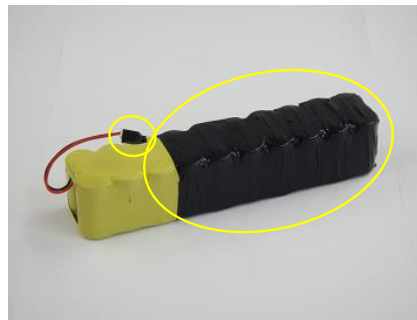
(リード線切断部露出)



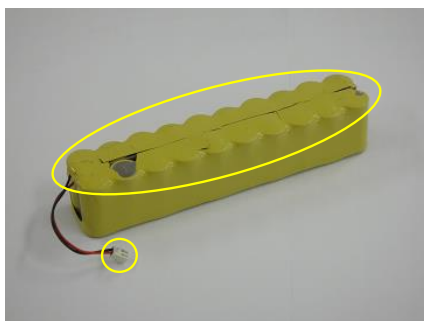
(リード線切断部を1本ずつ被覆)



(チューブケース破損
／コネクター部露出)



(チューブケースの被覆固定
／コネクター部被覆)



(チューブケース破損
／コネクター部露出)

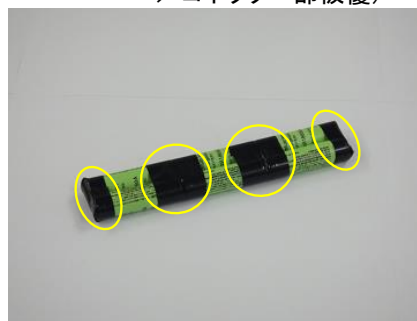


全体をテープで覆った場合、
電池種を記入して下さい

(チューブケースの被覆固定
／コネクター部被覆)



(電池端子・端子連結部露出)



(電池端子・端子連結部被覆
／電池固定)



(電池端子連結部
／コネクター部の露出)



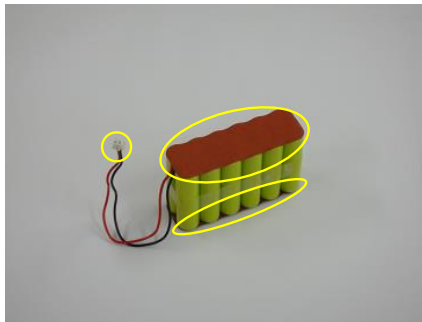
(電池端子連結部
／コネクター部の被覆)



(電池端子連結部露出)



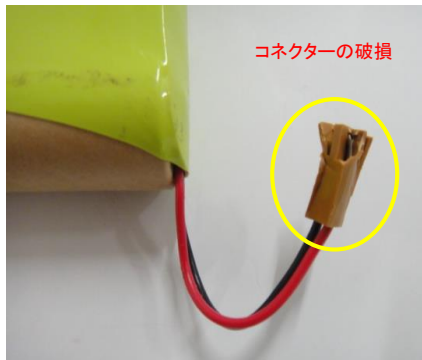
(電池端子連結部の被覆
／電池の固定)



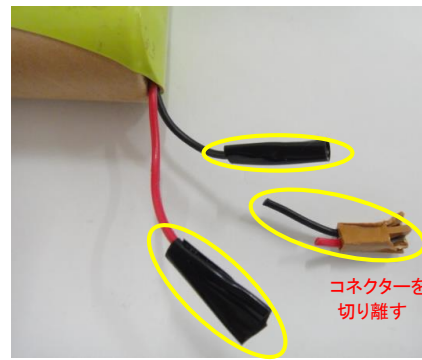
(電池端子連結部当て板付
／コネクター部の露出)



(電池端子連結部当て板の固定
／コネクター部の被覆)



(コネクター部の破損)
コネクター内でリード線同士が接触し
短絡の可能性あり



(コネクターを切り離しリード線の先端
を絶縁／リード線は短絡防止のため1
本ずつ切断)

回収できない電池

解体電池



(解体連結電池)



解体された電池は回収できません

解体に近い状態

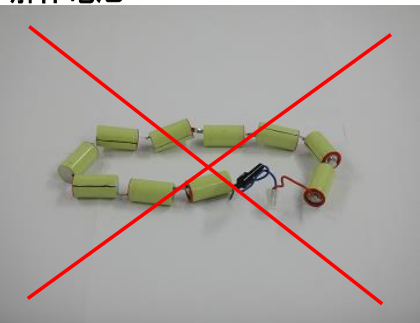


(電池パックから外れかけた連結電池)



解体されている電池は回収できません

解体電池



(解体連結電池)



解体された電池は回収できません
(製品の形体ではない電池は回収できません)

電池のソケット、ユニット

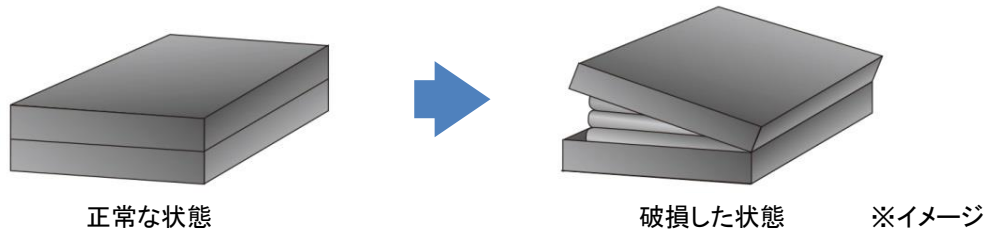


ソケットやユニットは回収できません。
ソケットやユニットは電池パックではありません。
ソケットやユニットに電池がセットされている場合、
電池を取り外してください。

機器から脱着可能な電池が回収対象です。
電池を取り出した後の機器、ソケット、ユニットは
回収対象外です。
なお、機器に内蔵されている電池は回収対象外です。

リチウムイオンポリマー電池の不安全事例

破損した電池パック・・・(例)電池の異常な膨張等により、電池パックが破損した電池

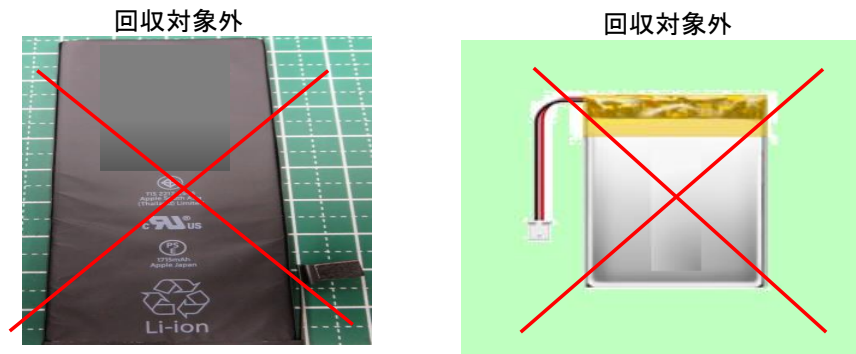


破損した電池は回収できません

リチウムイオンポリマー電池は、リチウムイオン電池の一種ですので、回収対象(ただし、ハードケースに入った電池パック)となりますが、電池の異常膨張等により、破損した電池パックは回収対象外となりますので、ご注意ください。

ハードケースに収納されていないリチウムイオンポリマー電池(パウチ型／ラミネート型)は安全面より**回収対象外です**(ハードケースとはプラスチック製や金属製の筐体、ケース)。輸送時、電池に外圧が加わった際、パウチ型／ラミネート型電池では変形等が発生し短絡・発熱に至る可能性がある為、安全面より回収対象外とします。

■回収対象外の事例：ハードケースに収納されていないリチウムイオンポリマー電池
(パウチ型／ラミネート型)



「回収拠点」登録時の承諾事項に、下記事項を明記しておりますように、解体された電池は回収できませんので、遵守ください。

- 発熱・発火の恐れがあるので、次の安全措置を遵守したうえで回収対象電池を梱包する。
- ・プラスチックケースやプラスチックチューブ等で被覆されている電池パックは解体しない。
 - ・解体された電池パック、破損した電池パック、解体により取出された電池及びその部品は、回収できないので、絶対に入れない。